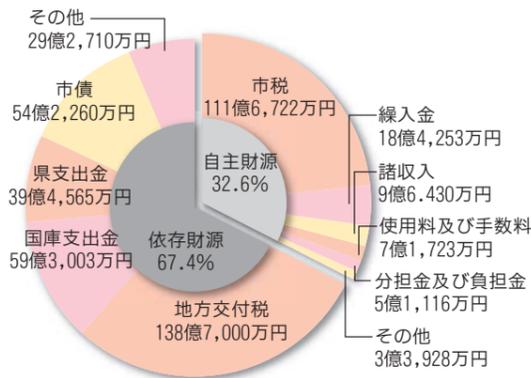


平成30年度一般会計予算 476億3,710万円

歳入



◆歳入予算額内訳 (単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
自主財源	155,417,200	32.6%	4.7%
市税	111,672,200	23.4%	1.1%
市民税	44,582,400	9.4%	1.3%
固定資産税	56,416,900	11.8%	1.4%
軽自動車税	3,559,000	0.7%	7.5%
市たばこ税	6,258,000	1.3%	△5.3%
入湯税	1,912,000	0.2%	△7.4%
繰入金	18,425,300	3.9%	28.5%
諸収入	9,430,000	2.0%	4.7%
使用料及び手数料	7,723,000	1.5%	2.7%
分担金及び負担金	5,116,000	1.1%	1.3%
寄附金	2,000,000	0.4%	0%
財産収入	1,928,000	0.3%	228.9%
小計	155,417,200	32.6%	4.7%
依存財源	320,892,800	67.4%	1.0%
地方交付税	138,700,000	29.1%	△4.5%
国庫支出金	59,300,000	12.4%	10.7%
県支出金	39,456,565	8.3%	7.9%
市債	54,226,000	11.4%	△0.9%
地方消費税交付金	17,469,000	3.7%	4.3%
地方譲与税	8,890,000	1.9%	6.4%
自動車取得税交付金	1,910,000	0.3%	23.1%
地方特例交付金	4,650,000	0.1%	20.5%
利子割交付金	3,210,000	0.1%	191.8%
配当割交付金	2,350,000	0.1%	△25.4%
株式等譲渡所得割交付金	2,280,000	0.0%	△8.8%
交通安全対策特別交付金	1,490,000	0.0%	2.1%
ゴルフ場利用税交付金	1,240,000	0.0%	△11.4%
小計	320,892,800	67.4%	1.0%
合計	476,371,000	100.0%	2.2%

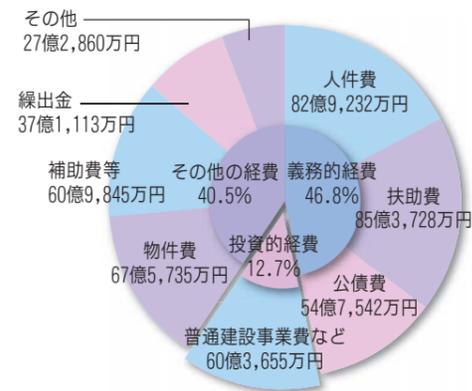
◆用語解説

自主財源…市に納められる税金や施設の使用料、住民票の交付手数料など
依存財源…市の財政力に応じて国から交付される地方交付税や国・県補助金、市債など
地方交付税…全ての市町村が一定水準の行政サービスを提供できるように、国税(所得税、酒税など)から配分されるお金
国庫支出金・県支出金…特定の事業の財源の一部として、国・県から支出されるお金
市債…公共施設の整備などのために、長期に借り入れるお金

◆歳出予算額内訳 (※性質別歳出) (単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
義務的経費	223,502,000	46.8%	0.3%
人件費	82,923,200	17.4%	1.6%
扶助費	85,372,800	17.9%	1.4%
公債費	54,754,200	11.5%	△3.0%
元金	51,358,800	10.8%	△1.9%
利子	3,954,000	0.7%	△16.9%
小計	223,502,000	46.8%	0.3%
投資的経費	60,655,000	12.7%	10.9%
普通建設事業費	60,345,500	12.7%	10.9%
災害復旧事業費	200,000	0.0%	0.0%
小計	60,655,000	12.7%	10.9%
その他の経費	192,553,000	40.5%	1.8%
物件費	67,573,500	14.2%	3.6%
補助費等	60,984,500	12.8%	12.2%
繰入金	37,113,000	7.8%	△14.2%
投資及び出資貸付金	12,346,500	2.6%	10.2%
維持補修費	10,280,300	2.1%	5.1%
積立金	4,259,200	0.9%	△18.3%
予備費	4,000,000	0.1%	0.0%
小計	192,553,000	40.5%	1.8%
合計	476,371,000	100.0%	2.2%

歳出



◆用語解説

義務的経費…人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費
投資的経費…道路や学校など、将来に残るものに対する経費
その他の経費…上記二つ以外の経費で、物件費(賃金、委託料、物品の購入、施設の光熱費などの経費)や補助費等(事務組合・各種公益団体に対する負担金・補助金などの経費)など

※性質別歳出

歳出の経費を人件費や普通建設事業費、物件費など経済的性質で分類したものが性質別歳出です。このほかに、農林水産業費や教育費など行政目的で分類した目的別歳出があります。

■歳入について
 自主財源の柱である市税は前年度比で1.1%の増を見込んでいます。国庫支出金は10.7%増加。道路橋梁の整備・維持に係る国土交通省からの社会資本整備総合交付金や、法人立保育施設整備に係る国庫補助金の増額が主な要因となっています。
 ※文中の用語「自主財源」については、左ページで説明しています

■歳出について
 子育て支援の充実を図るため、子どもの医療費助成や保育料等負担軽減の拡充、待機児童解消に向けた保育施設整備への支援事業費を計上しています。
 また、新たな産業団地整備、道路橋梁整備・維持事業、公共交通の確保など、産業の振興や市民生活の利便性・安全性の向上に資する事業費を計上。さらに、総合花巻病院移転整備支援など、10.9%の投資的経費の増を見込んでいます。

■国民健康保険特別会計の一部を岩手県の特別会計で運営
 本年度より、運営主体が市町村から岩手県に移行。これまで市が行っていた国からの交付金の受け入れ

や、支払基金への後期高齢者支援金・介護納付金の支払いなどが岩手県の特別会計で運営されます。これにより、国民健康保険特別会計は19.5%の減を見込んでいます。

●本年度から国民健康保険税を減額
 国民健康保険加入者の負担を軽減するため、市は本年度、国民健康保険の税率を見直しました。▽資産割を廃止▽平等割を縮小▽医療、後期高齢者支援金、介護納付金を調整により、保険税額を減額。住宅などの資産を保有しているも、所得の少ない世帯を中心に負担を減らします。1世帯当たり1万1580円、被保険者1人当たり7305円の引き下げを見込んでいます。

■農業集落排水事業を下水道事業会計に移管
 平成29年度まで農業集落排水等汚水処理事業特別会計で運用していた農業集落排水事業を、本年度から公営企業会計の下水道事業会計に移管。公営企業会計の下水道事業と一体的に管理することから、汚水処理事業特別会計は、79.6%の減を見込んでいます。残る個別浄化槽などの事業費は、汚水処理事業特別会計として計上しています。

■平成30年度各会計予算の総括表

(単位:万円、%)

区分	30年度予算額	29年度予算額	増減額	増減率	30年度末市債残高見込み	29年度末市債残高見込み	増減額
一般会計	476億3,710	466億1,748	10億1,962	2.2	568億8,890	566億218	2億8,672
国民健康保険	86億7,088	107億6,959	△20億9,871	△19.5	—	—	—
後期高齢者医療	20億5,819	19億4,777	1億1,042	5.7	—	—	—
介護保険	105億9,841	105億3,792	6,049	0.6	—	—	—
公設地方卸売市場事業	8,013	6,750	1,263	18.7	9,974	1億952	△978
汚水処理事業	3億2,689	16億184	△12億7,495	△79.6	8億6,694	7億5,606	1億1,088
合計	693億7,160	715億4,210	△21億7,050	△3.0	578億5,558	574億6,776	3億8,782

■下水道事業会計(公営企業会計)

(単位:万円、%)

区分	収益的収支		資本的収支		30年度末市債残高見込み
	収入	支出	収入	支出	
公共下水道事業	25億7,009	25億4,154	18億3,882	27億5,853	408億3,913
農業集落排水事業	11億2,655	11億3,485	4億8,182	9億1,225	
合計	36億9,664	36億7,639	23億2,064	36億7,078	

◆収益的収支とは…下水道料金を主な財源として、施設の維持管理や借入金利息返済などを行います
◆資本的収支とは…企業債などを主な財源として、施設の建設や更新などを行います